

第 2 学年「音楽」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果 ◇ 歌や演奏に楽しく取り組み、拍や拍子を意識した演奏ができる。
◇ 鍵盤ハーモニカで簡単な曲を演奏できる
- ▼ やわらかな発声で歌う。どなり声で歌ってしまう児童がいる。
▼ 鍵盤ハーモニカの運指や指またぎと指くぐり。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 丁寧な歌い方や、きれいな発声・発音の仕方
- ◇ 互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能
- ◇ 曲や演奏の楽しさやよさを見つけて聴く力

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 低学年から、正しい発声や発音、楽器の運指などをしっかりと指導し、自信を持たせる。
- 児童同士で教え合って練習させる。

言語活動の工夫

- 曲想を表す言葉を覚える。
- リズムや旋律の特徴、歌詞の内容に注目させ、気付いたことを言葉にできるようにする。

ICT活用の工夫

- 鑑賞では、映像を見て楽器の形や演奏の様子がわかるようにする。
- 楽曲の情景やイメージ画像をテレビで見ながら歌ったり演奏したりする。

課題解決力育成の工夫

- 音楽表現を考えて表現に対する思いをもたせる。
- 曲や演奏の楽しさを見い出しながら音楽を味わって聴けるようにする。

達成目標

- 児童が、音楽のよさや楽しさを感じて自分の思いや意図をもって生き生きと音楽表現できるようにする。
- 鍵盤ハーモニカの運指や楽器の音色に気を付けて演奏できるようにする。